

授業情報			
開講年度	2026年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育特論IV-1		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	春学期 01:金6時限		
科目区分	選択・数学科教育特論	配当年次	1年以上
使用教室		キャンパス	早稲田
科目キー	371E220007	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX681L		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	その他		
レベル	修士レベル	授業形態	講義
単位数	2		

シラバス情報					
授業概要	教育工学に応用できるラフ集合理論について輪講形式で授業をする。 対面(zoom中継あり)とオンライン(zoomのリアルタイム形式/waseda moodle のオンデマンド形式)を併用する。				
授業の到達目標	ラフ集合理論の基礎を理解する。				
事前・事後学習の内容	【事前学習】 本科目のシラバスを確認し、下記備考欄に記載の通り担当教員にメールをする。その返信メールにて教科書の購入や初回授業時の注意を知らせるので、その指示に従うこと。次回の学習範囲を予習し、特に自分の発表担当の箇所はより深く理解するよう努める。 【事後学習】 扱った単元を復習し、関連する問題等があれば解いて理解を深める。 毎回合計で4時間程度かかると想定される。				
授業計画	#1. ガイダンス・イントロダクション・発表担当決め #2～#14. ラフ集合理論輪講				
教科書	「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版				
参考文献	「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer				
成績評価方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>割合</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平常点評価: 100%</td> <td>発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	割合	評価基準	平常点評価: 100%	発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。
割合	評価基準				
平常点評価: 100%	発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。				
備考・関連URL	初回授業はオンライン(zoomリアルタイム)で実施します。 zoom会議室連絡の都合上、履修を希望する人・検討している人は、「早めに」担当教員までメールでその旨知らせてください(メールアドレスを知らない場合は、下記メールアドレス宛てに送ってください)。 madao(at)list.waseda.jp ※(at)を@に変えてください。				